

授業科目 ICF 入門

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢・健栄・スポ・社会・看護・情報	
黒川 幸雄		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	15	
【カリキュラムポリシーとの関連性】						
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現		
【概要・一般目標：GI0】						
<p>国際障害分類（International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps：ICIDH）は1980年から2000年までの20年間リハビリテーション医学の世界で大変積極的に活用されてきた。そこで今日においてもその活用が継続されている傾向もある。2001年WHO総会において承認された国際生活機能分類（International Classification of Functioning, disability, and Health：ICF）への移行の背景と意義を理解し、臨床場面への応用の方法を理解し、実際に適用できるようにする。</p>						
【学習目標】						
<p>1) ICIDHの概念を理解し、説明できる。 2) ICFが生まれる背景を理解し、その概念を理解し説明できる。 3) ICIDHからICFへの移行の意味を理解し、説明できる。 4) ICFを臨床場面に適用できるよう紙上患者 paper patient を用いて、適用できる。</p>						
回数	授業計画・学習の主題				SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション。ICFの基本的概念とICIDHの基本的な概念を比較する。				1, 2)	講義
2	ICIDHの生まれる背景とICFの生まれる背景とその移行について検討して理解する。				1, 2, 3)	講義
3	ICFの基本的構成を理解する。				2)	講義
4	ICFの臨床場面での適用について検討する。				2)	講義・演習
5	小グループワーク1				4)	演習
6	小グループワーク2				4)	演習
7	グループ発表				1～4)	演習
8	まとめ・アンケート・試験・授業評価など				1～4)	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		ICFの理解と活用	上田 敏	きょうされん	2005・700円＋税	
参考書		ICF 国際生活機能分類—国際障害分類改定版— 生活環境論 第6版	世界保健機関 (WHO) 木村哲彦監修・著、 細井俊希、黒川幸雄	中央法規 医歯薬出版	2002・3,500円＋税 2010・6,400円	
その他の資料						
【評価方法】			【履修上の留意点】			
出席状況、レポート提出、筆記試験などを総合して評価を行う			集中講義で、日程は9月16日（金）1～5限、9月17日（土）1～3限			